

グランプリ MOT03 レーサー M32 の ベース車両を限定受注開始

今期デビューするや否や大活躍し、第11戦終了時点でランキングトップを走る KTM グランプリ MOT03 レーサー(M32)。そのベース車両となるプロダクションレーサー(KTM Moto3 250 GPR)の正式発売に向け、受注を開始いたします。

オーストリアを本拠にエクストリームなモーターサイクルを製造する KTM (KTM ジャパン・03-3527-8885)は、今期の MOT03 で活躍しているグランプリレーサーのベース車両となるプロダクションレーサー(レース専用モデル)を日本の正規ディーラーを通して受注を開始いたしました。

KTM は Ready To Race を掲げ、常にハイパフォーマンスなモーターサイクルを提供しておりますが、日本国内においてこのような純粋なロードレース専用のレーシングマシンを受注販売するのは全く初めてとなります。今回受注を開始したプロダクションレーサー(KTM Moto3 250 GPR)は、グランプリ MOT03 で活躍するファクトリーレーサー(M32=Moto3 2012)、そして来期(2013年シーズン)に“Red Bull Rookies Cup”で使用される予定のレーシングマシンと基本的には同じものです。

KTM Moto3 250 GPR は、プロダクションレーサーとはいえ、MOT03 のレギュレーションに完全に準拠し、かつベースマシン以上の戦闘力を誇る、まさに“Ready To Race”なマシンとして作りこまれています。デリバリー時点で GET/Athena 製の電子制御システム(燃調/点火タイミング/エンジンブレーキトラクションコントロール/ローンチコントロール/ピットレーンスピードリミッターなどがフルアジャスタブル)をはじめとする完全にレースに即応した心臓部を与えられているばかりか、2次減速比(スプロケット)や db キラー(2次サイレンサー)等の部品が付属。OZ 製鍛造削り出しアルミニウムホイール、ブレンボ製ダブルディスクファクトリーブレーキシステム、WP 製ファクトリーサスペンションといった装備は KTM のファクトリーマシン M32 と全く同じ構成。いわゆるベースマシンを購入して同等のスペックに仕上げるよりはるかに安価に、フルスペックの GP マシンが手に入るよう仕立て上げられています。シャーシも M32 と同様、フォークアングルやスイングアームピボットを中心にジオメトリがフルアジャスタブル。エンジンをさらにチューニングを進め、14,000rpm にレブリミットを高めるための GP スペックキットはオプションで用意されています。

受注は 9/30 日までの限定となり、どなた様でもご購入が可能です。車両の実際のデリバリーは 2013 年 2 月ころを予定。是非お近くの KTM 正規ディーラーまでお問い合わせください。



KTM Moto3 250 GPR (Production Racer 2013)

参考: Red Bull KTM Ajo Team



参考: KTM Moto3 250 RBR Red Bull Rookies Bike 20



※上記プロダクションレーサーとの相違はカラーリングのみとなります

KTM

■ KTM Moto3 250 GPR (Production Racer 2013)

価格:525万円(税込)



SPECIFICATION KTM Moto3 250 GPR (Production Racer 2013)

エンジン	水冷 4 ストローク DOHC 単気筒
総排気量	249.5cc
内径/行程	81/48.5mm
最高出力	37kW /13,000rpm
最高回転	13,500 rpm
フレーム	チューブラスチール
フロントフォーク	WP / DM 45 mm, RCMA3548
リアサスペンション	WP / 自由長調整式・油圧プリロード
ブレーキ F/R	ブレンボ製ラジアルマウント 290 / 190 mm シングル
リム F/R	OZ 製アルミ鍛造 2,5 x 17 / 3,5 x 17"
タイヤ F/R	95/70-17 / 115/70-1
サイレンサー	アクラポビッチ フルチタンシステム (max. 108 dB)
燃料タンク容量	約 11L
乾燥重量	約 83kg (燃料含まず)
メーカー希望小売価格 (税抜車両本体価格)	525万円(500万円)
デリバリー	2013年2月以降

詳細についてはお近くの KTM 正規ディーラーにお問い合わせください。

KTM レーシングマシンからのフィードバック(遺伝子)

〉GP125

各種ジオメトリー・エルゴノミクス・エアロダイナミクス・各種コンポーネント

〉MOTO GP

エンジン設計全般(シリンダーヘッド、吸気系)

〉SBK RC8 R

電気系統、フレームノウハウ、素材・加工技術

〉MX

油圧系統、ギアボックス、クラッチ、バルブトレイン

このプレスリリースを掲載いただき、お客様からの問い合わせ先を記載する場合は、
「KTM JAPAN 株式会社 TEL:03-3527-8885」と記載をお願いいたします。

メディア関係者各位

この件に関するお問い合わせ: KTM JAPAN 株式会社 担当:野口
〒135-0063 東京都江東区有明 2-5-7 TOC 有明ウエストタワー9F
TEL: 03-3527-8885 FAX: 03-3527-8890 HP: <http://www.ktm-japan.co.jp/>

KTM